

平成 22 年度 室内環境学会第 3 回役員会議事要旨

日 時：平成 22 年 6 月 30 日（木）10 時～12 時
場 所：(株) アイデック事務所内 5 階会議室
出席者：小野、池田、柳、柳沢、東、樺田、野崎（以上実出席）、中井、川上、篠原（以上委任出席）
事務局：中島、松村、色摩
監 事：斎藤（委任出席）
欠 席：なし

議事次第

1) 「室内環境学概論」準備状況他

中島出版委員より資料に基づき「室内環境」13 巻 1 号の発行と、2 号掲載予定原稿等について報告された。「室内環境学概論」の進捗状況について、入稿が遅延したため発刊が若干遅れる可能性があること、ページ超過が予想されるため初校段階での削減が見込まれることが報告された。また出版委員の増員する予定である旨報告された。これに関し、査読委員の制度を検討しても良いのではないかと提案があった。併せて電子ジャーナル化、Jstage の利用についても検討するよう提案があった。

2) 平成 22 年度室内環境学会学術大会報告

資料に基づき、大会ホームページの開設 (6/1)、演題登録 (7/月上旬予定) の準備状況等について報告された。

3) 室内環境学会標準法認定に関する件

柳沢標準化委員長より室内環境学会標準法認定に関する基本規約（案）、商標使用料に関する細則、室内環境学会標準法認定に関する細則（案）について、前回役員会等で出された意見に対しての修正が施された第 3 案が提出され、内容についての説明があった。また商標「室内環境学会標準法準拠」は、既に商標登録（本会が法人でないため、現在は柳沢委員長名での登録）した旨報告さ

れた。

これに関し、各部署での役割、審査の流れ等について質疑応答と議論があり、学会内で商標管理を行う「商標管理委員会」と、商標を利用する側の「商標会員」を新設して運用することとした。これらの修正を前提に、本規約・細則は承認された。「商標管理委員会」、「商標会員」の新設には会則の改正が必要であることから、早急に修正案をまとめ、総会での会則改正準備に入ることとした。また柳沢標準化委員長を代表とする「商標管理 WG」を設置することとした。

4) 「永年賞」に関する件

柳事業委員会より、室内環境学会永年賞規定（最終案）が提出され、承認された。また 9 月 1 日の講演会についても簡単に案内された。

5) 委員会等報告

特段報告が必要な案件はなかった。

6) その他

- ・ 会長・監事選挙告示の件について、ホームページ、室内環境誌及びニューズレターにおいて告示を行った旨報告があった。
- ・ 医中誌契約の件について、5 月 27 日付で契約を行った旨報告された。
- ・ 日本学術振興会育志賞の件について紹介があり、積極的な応募が呼びかけられた。
- ・ 会員動向について事務局より報告があった。会費納入依頼とともに未納者への催促を行った結果、退会者が出ているため 22 名の減となった旨報告があった。
- ・ 次回は 9 月の開催を予定。

以 上